

JAPAN TECHNOLOGY
液肥

農水省登録 生第 101445 号

荷姿：10×10本入/100 CBテナー

セルエナジー

日本の大手ビール会社を傘下に持つ

「アサヒグループホールディングス株式会社」の研究開発（特許第 5555818 号）により誕生したビール酵母細胞壁の分解物（βグルカン断片）を配合した新しいタイプの液肥です。

N P K Fe 含有
1 - 5 - 5 - 0.5

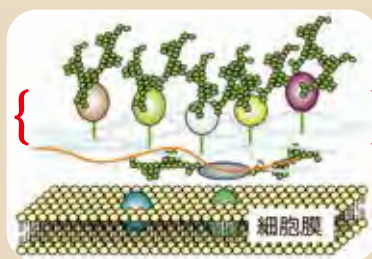


NEW

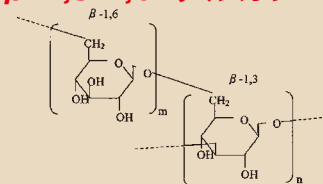
鉄資材を配合することで、植物が吸収できる二価鉄イオンを供給できます。



ビール酵母細胞壁成分が、植物の葉や根に触れることで、発根促進、病害抵抗性増強などの効果があることが明らかになりました。



β-1,3-1,6- グルカン



生菌剤ではありません。

ビール酵母抽出グルカンを配合した液肥です。



清和肥料工業株式会社



こちらからも
セルエナジー
ご覧になれます

セルエナジー N P K Fe 1-5-5-0.5



製品特長

- ビール酵母細胞壁のβグルカン等特殊な加熱処理によって還元低分子化し、N(1)-P(5)-K(5)-Fe(0.5)を配合した液肥です。
- ビール醸造後の酵母から調製した細胞壁(βグルカン)を製品化した本資材は、植物が本来持っている力を引き出す効果があることが、アサヒグループホールディングス株式会社の研究を基にわかってきております。
- 本資材を散布することで、植物の生理を活性化させる作用と、肥料成分を効率よく吸収できる作用を植物体に促すことができます。
- 光合成促進・発根促進・養分吸収の促進・開花結実の促進による収量増加、果実の肥大、着色糖度の向上などに効果があります。



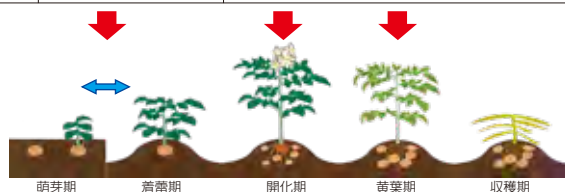
適用作物と使用方法

- ・葉面散布、株元散布、土壌灌注で施用すると効果的です。
- ・土壌灌注は200mL/10aを目安に施用してください。
葉面散布、株元散布は1,000倍希釈にしてください。
(トマトは2,000倍希釈)
- ・生育相転換期に施用してください。
- ・土壌水分が十分あることがポイントです。

- ・果菜類などの液肥追肥時に200mL/10a混用してください。
(1ヶ月に2〜4回施用)
- ・一般的な農薬との混合は可能です。
(石灰硫黄合剤等アルカリ性農薬、ホルモン剤とは不可)
- ・葉物野菜は、高温多湿環境下では葉害を助長する恐れがあるので農薬との混用は避けてください。

対象作物	推奨時期	注意事項
水稻	育苗期	田植 1〜3 日前に 1,000 倍液散布または箱ごと希釈液に浸ける
	本田	5〜6 葉期 (田植後 10〜14 日) ※除草剤 (ジャンボ剤) 処理時期 10a 当たり 200ml を 20〜30l の水に希釈し、水口から灌漑水とともに流す (3 日以上は入水・落水しない)
コムギ オオムギ	2.5〜3 葉期 4〜5 葉期	1,000 倍希釈液、300L/10a 左記の時期に 1 回ずつ散布
ダイズ	初生葉展開時 本葉 3 葉期 開花期	200 ミリリットル /10a 土壌灌注 1,000 倍液葉面散布
ハウレンソウ コマツナ	生育期	1,000 倍液を葉面散布
キャベツ ハクサイ レタス	育苗期 外葉生長期〜 結球始め	結球始めまでに 2〜3 回 200 ミリリットル /10a 土壌灌注 葉面散布は必ず展着剤を添加
ブロッコリー カリフラワー	出蕾期 花蕾肥大期	200 ミリリットル /10a 土壌灌注 葉面散布は必ず展着剤を添加
キュウリ ナス ピーマン イチゴ など	育苗 (定植前) 着果後から 1〜3 回 / 月	200 ミリリットル /10a 土壌灌注 着果後から 2〜4 週間に 1 回 チューブ灌水施肥、水やり時に所定量のセルエナジーを加える 1,000 倍液葉面散布
スイカ	玉肥のころ	玉肥時 (液肥を使う場合は混合施用する)

対象作物	推奨時期	注意事項
温州ミカン (着色促進・ 浮皮予防)	早生系品種 8・9・10 月 中晩生系品種 9・10・11 月	月 1 回、1,000 倍液 300L/10a 葉面散布 好ましくは株元土壌灌注 生理落果前散布はしない 土壌乾燥時は散布しない 降雨後または葉水と併せて灌水後施用する
	早生品種 7月下旬・8月中・9月上 中生品種 8月上・8月下・9月上 晩生品種 8月下・9月中・10月上	月 1 回、1,000 倍液 400L/10a 葉面散布 生理落果前散布はしない 土壌乾燥時は散布しない 降雨後または葉水と併せて灌水後施用する
エダマメ	初生葉展開時 本葉 3 葉期 梅雨期の草勢維持	200 ミリリットル /10a 土壌灌注 1,000 倍液葉面散布
ジャガイモ	萌芽期〜着蕾期 開花期 収穫 30 日前	1,000 倍液を散布 (降雨後又は前日葉水)



使用上の注意点

- 微粒子が均一になるよう、よく振ってからご使用ください。
- 開封後は、キャップを閉じ、直射日光を避けて冷暗所に保管してください。
- アルカリ性の農薬や石灰硫黄合剤と混用しないでください。
- 誤飲のないように注意し、子供の手の届かないところに保管してください。
- 希釈した液肥は、すばやく使い切ってください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 目に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。